日本の木造建築を木材と構法から考える テーマ地域材と板倉構法

安価で大量生産できる、工業製品のような建物が日本全国あらゆるところで建ち並び、建物と地域や里山との関係がますます気薄になっています。日本には元来1000年を超える木造建築の技術、歴史があり、地域と共に歩んできた経緯がありますが、その伝承の道が無碍に扱われているのが現状です。

今回のテーマである「落とし板壁構法」(板倉構法)は穀物庫、宝物庫をルーツに持ち、現代ではその機能を人間が住まう建物として、快適な空間の実現をめざしたものです。「落とし板壁構法」(板倉構法)は通常の木造住宅と比べ2~3倍の木材を使用します。木材の流通も重要なテーマとなり、地域や里山との関係、環境改善への貢献度は大きいものになります。

世界的に対策が問われる環境問題は私達の身の回りでは「ウッドショック」を機により身近な問題として感じる事になってしまいました。従来の木造建築現場に当たり前のように搬入される木材が「どこから?」を問うチャンスは今なのかもしれません。

木材の流通と構法。そして環境問題にどの様に貢献するべきかを是非皆様と一緒に考える機会にしたいと思い、今回の講演会と見学会を準備しました。皆様のご参加をお待ちしております。

開催日 2022年 10/23 (日)

■ 現場見学会

見学物件 I 『Y邸』 (飯田市)

見学物件2 『某邸』 (駒ケ根市)

10:00~12:30 受付 9:00

定員50名

定員100名

■ 基調講演

会場 産業振興と人材育成の拠点「エス・バード」A棟 2階ホール

14:00~17:30 受付13:00



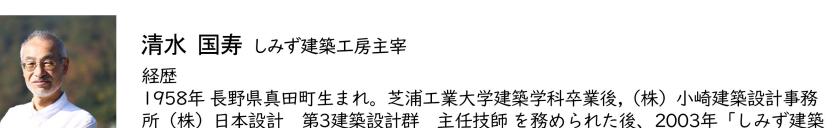
安藤 邦廣 筑波大学名誉教授、里山建築研究所主宰

経歴

1948年 宮城県鳴子町生まれ。(一社)日本板倉建築協会代表理事・(一社)日本茅葺き文化協会代表理事・NPO木の建築フォラム理事。

工房」を 開設。主に信州を中心に地域の自然材料を使用した建築を多く手掛ける。

主催している「里山建築研究所」では、伝統・現代技術からなる板倉の家づくり他,日本の森林資源の大きな循環の回復を目指した古民家再生や里山保全の活動も展開される。



講演会参加費

2500 円

■ 申し込み・ご案内

主催 南信州民家の会 共催 伝統木造の会 信州事務局・東海事務局・日本板倉建築協会 応募フォーム … Googleフォーム 又は 別紙記入の上 FAX にてお申込み下さい。

応募申し込みの後、詳細、現地地図などのご案内を差し上げます。

問い合わせ 南信州民家の会 事務局:株式会社矢沢設計

電話番号 0265-25-2397 Email yazawa-s@fuga.ocn.ne.jp (担当:宮内)



応募Googleフォーム

日本の木造建築を木材と構法から考える

テーマ 地域材 と 板倉構法

下記の応募フォームに必要事項をご記入の上、FAXにてご応募ください。 団体等、複数人での応募の際は、代表者の氏名等をご記入頂き、その他同席される方の お名前を備考欄へご記入ください。

南信州民家の会 事務局:株式会社矢沢設計 FAX 番号 0265-25-2297

応募フォーム

フリガナ				
お名前				
ご所属				
お住まい(都道府県)				
エスバードまでの交通手段				
午前の部(建物見学)	参加	•	不参加	
午後の部(講演会)	参加	•	不参加	
Email アドレス				
緊急電話番号 (当日繋がりやすいもの)				
備考欄				